

## ろうさい ニュース

令和2年

5月号

第429号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。  
地域の皆様からの信頼に応え続けるために「アットホームなハイクラスの病院」  
を理念に取り組んでいます。

### ■新任医師の紹介

#### 呼吸器内科 矢澤 秀介

初めまして。この度、令和2年4月1日より浜松労災病院で呼吸器科医師として勤務させていただいております矢澤秀介（やざわ しゅうすけ）と申します。

私は長野県の飯田市の出身ですが、大学で浜松に来てから今年で浜松在住12年目になり、浜松は私の第二の故郷となりました。大学時代はラグビー部に所属しておりスクラムを組んでおりました。大学卒業後は聖隷三方原病院で初期・後期研修を行い今回労災病院へ来させていただきました。

まだまだ未熟であり、日々勉強ではありますが、少しでも浜松の医療に貢献できるように、また患者さんに寄り添っていける医師を目指して精進していきたいと思っております。至らない点や不慣れな点があるかと思いますが、精一杯頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。



#### 消化器内科 丸井 彩子

はじめまして。

2020年4月から浜松労災病院で消化器内科医師としてお世話になる丸井彩子と申します。京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院、大阪赤十字病院消化器内科で勤務し、その後、京都大学大学院で膵臓癌の研究に携わっていました。

大阪生まれの京都市育ちなのですが、学生時代や医師になったあとも含め、およそ京都・大阪でしか生活をしたことがありませんので、この度、故郷を離れて浜松で過ごせることを楽しみにしています。浜松での勤務期間は今年の7月までと短い期間ではございますが、精一杯、浜松にお住いの皆様の健康増進に貢献できるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



## ■顔にできた基底細胞癌の治療について

形成外科 部長 藤原 雅雄

基底細胞癌は最も頻度の高い皮膚悪性腫瘍（皮膚がん）です。70%は顔に発生して、中でも鼻・下眼瞼・上口唇周囲の顔の正中付近によくできます。高齢者に多いですが、40歳代にも時々みられます。リンパ節や肺などに転移する可能性は極めて低いですが、不完全な切除では、大きく、深い病変になって再発してくる可能性が高いです。私どもは、がんを完全に切除して、しかも、顔の形態に影響が少ないように傷を治すよう心掛けています。4つの症例を供覧して具体的な治療法の説明をさせていただきます。

### 【症例1】

右鼻翼の基底細胞癌。腫瘍を切除して、病理組織学的検査でがんが残存していないことを確認しました。皮膚欠損の頭側の皮膚を三角形に切って、その皮膚を移動させて欠損部を覆いました。再発はなく、鼻の周りの溝に縫合線が一致しており、傷も目立ちません。



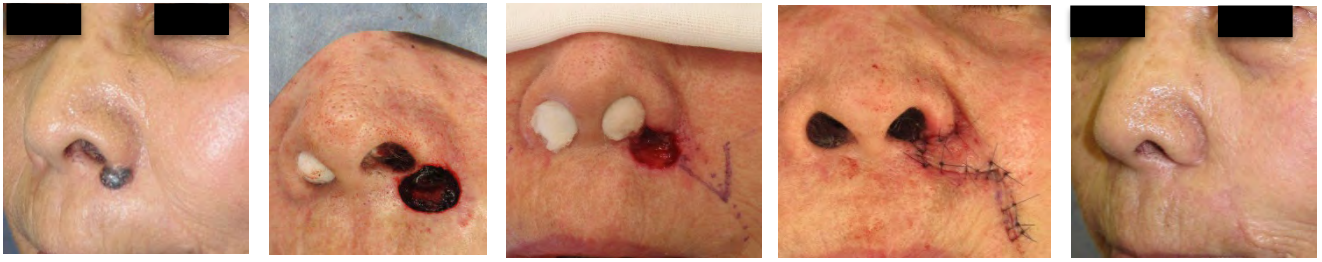
### 【症例2】

左鼻翼頭側の基底細胞癌。腫瘍を切除して、病理組織学的検査でがんが残存していないことを確認しました。右の鼻唇溝（ほうれい線）のところから皮膚を採取して、皮膚欠損部に移植しました。再発はなく、傷も目立ちません。



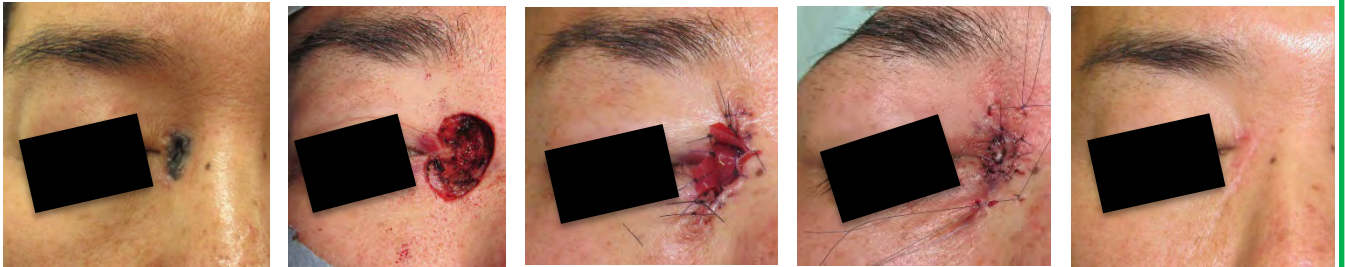
### 【症例3】

左鼻翼の付け根の基底細胞癌。上口唇にかけて腫瘍を切除して、病理組織学的検査でがんが残存していないことを確認しました。鼻唇溝の皮膚を三角形に切って、その皮膚を移動させて欠損部を覆いました。再発はなく、ほうれい線や鼻の周りの溝に縫合線が一致しており、傷も目立ちません。



#### 【症例4】

右内眼角（目頭）の基底細胞癌。腫瘍を切除しましたが、非常に大きく深い欠損となりました。皮膚欠損ができるだけ小さくなるように欠損の頭側と足側をできるだけ縫い縮めて、残った欠損部をいったん人工真皮（コラーゲンスポンジ）で覆いました。病理組織学的検査でがんが残存していないことを確認しました。約3週間で人工真皮は真皮様の組織に置きかわり、傷が浅くなりますので、その後、鎖骨部から小さく皮膚を採取して皮膚欠損部に移植しました。再発はなく、開瞼・閉瞼に支障なく、傷も目立ちにくいです。



これらの症例は全て局所麻酔（部分麻酔）で入院を必要とせず、外来通院で行なっています。基底細胞癌は一見、傷跡、血豆、ほくろ、かさぶたのように見えるできものです。気になるようなできものがございましたら、私どもを含めて専門医にご相談ください。

### ■他の皮膚がんの治療について

その他の皮膚がんには、有棘細胞癌、悪性黒色腫、乳房外パジェット病、メルケル細胞癌などがあります。いずれも進行するとリンパ節に転移する可能性があります。リンパ節は頸部、腋窩や鼠径部などに存在していて、上肢の癌からは腋窩へ、下肢の癌からは鼠径へ転移します。顔の癌からは、耳下腺部・顎下部・頸部に、体幹からは腋窩や鼠径などに転移します。数十個のリンパ節の中から、癌が最初に転移するリンパ節（センチネルリンパ節）を見つける方法として、放射性同位元素を用いた方法（リンパシンチグラフィ、ガンマプローブ）があります。私は、2009年に“皮膚がんのセンチネルリンパ節検索のための蛍光色素法”をイギリスの医学雑誌に報告しました。現在、この方法は広く普及しています。当院では、放射性同位元素と蛍光色素法を用いた正確なセンチネルリンパ節検索を行なっています。センチネルリンパ節に腫瘍が転移しているかどうかで、その後の治療方針を決定します。



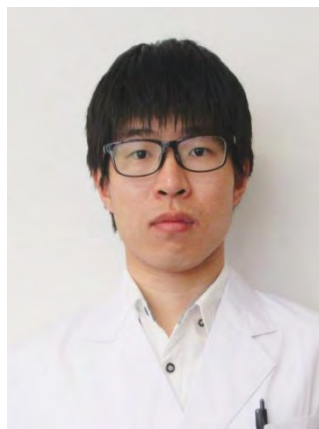
## ■初期臨床研修医の紹介

### 増田 大樹

はじめまして。令和2年4月より浜松労災病院で初期臨床研修医として働かせていただく増田です。2年間よろしくお願いたします。出身は愛知県名古屋市で、浜松医科大学を卒業しています。人と人の距離が近くおらかな人が多い浜松の土地柄が気に入りこちらで研修をすることにしました。

研修を始めてまだ日も浅いですが丁寧に教えてくださる先生ばかりで、これからの生活が非常に楽しみです。大学時代はボートを漕いでいて、それ以外でも体を動かすことがとても好きだったので体力はかなりついていると思います。

無理ができるうちに様々なことにチャレンジして短い期間にできる限りのことを吸収して、将来この浜松の地に貢献できるようになりたいと思います。



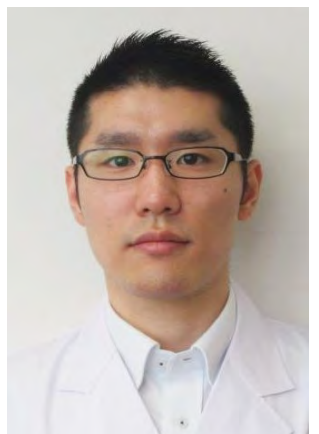
### 林 健二郎

はじめまして。このたび令和2年4月から浜松労災病院で初期臨床研修をさせていただくことになりました。林健二郎と申します。2年間よろしくお願いたします。

出身は静岡市で、大学から浜松市で生活するようになりました。趣味はスキーで、今シーズンは行けませんでした。毎年北信州に滑りに行くのを楽しみにしております。

浜松労災病院はアットホームな雰囲気のある人と人の距離が近い病院だと思っています。そんな環境を活用し、先輩医師やスタッフの方々、患者さんたちから多くのことを学び吸収し、今後の医師人生における貴重な財産にしていきたいと思っています。

一刻も早く皆様の中に加わり、役割を持って仕事ができるように頑張りたいと思っています。至らぬ点も多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。



## <休診のご案内>

耳鼻咽喉科につきましては、6月末まで休診とさせていただきます。

神経内科につきましては、5月末まで休診とさせていただきます。なお、6月以降は、隔週にて診察を開始する予定としておりますが、政府の緊急事態宣言の動向を踏まえ、再開時期を検討いたします。皆様には大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

※再開時期は、改めてホームページ等で広報いたします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松ろうさい病院 地域医療連携室 fax 053-411-0315 月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00